2026年8月19日

2026年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校関係者評価委員会は、2025年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告致します。

１．実施日

2026年8月18日

２．学校関係者評価委員

菅原　亮　　（私立　新名学園旭丘高校）
熊坂　恵司　（原町田四丁目第二町会）
藤澤　洋平　（株式会社ケーユーホールディングス）
加藤　康弘　（横浜総務サポートセンター）
安藤　肇　　（本校卒業生）
大野　勇人　（本校卒業生）
寺田　真葉　（本校卒業生）

（事務局）

小木曽　勇士（大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校　校長）
内田　傑　　（大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校　教務課長）
吉村　由香里（大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校　教務課長代理）
井口　敦　　（大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校　総務課長代理）

３．学校関係者評価・提言

自己評定（達成度）　３：基準を満たしており特筆すべき取組を行っている、２：概ね基準を満たしている　１：基準を満たしておらず改善が必要

大項目		中項目		自己評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
1	教育理念・目的・目標	1	教育理念・目的及び目標設定等	2	学園の教育理念、目的、目標、育成人材像が具体的な言葉で明文化されており、「就職」と「資格取得」において一定の成果を残し、有為な産業人を育成することができている。 全国に多数の学校を設置している法人であるが、教育理念などは大原学園ホームページなどで広く周知・公表されており、全教職員に浸透している	・適正に運営されている。
2	学校運営	1	教育課程の編成と授業科目	2	ディプロマポリシー及び育成人材像に基づき、教育課程編成・実施方針を策定している。資格取得、就職、実践力の育成を目標とし、基礎から応用・実践へと段階的に学べる授業科目を体系的に配置している。また、企業等や教育課程編成委員会からの意見を反映し、業界ニーズを踏まえた教育内容の改善を継続的に行っている。	・適正に運営されている。
		2	教育課程の実施	2	教育目標及び育成人材像に基づき、各授業科目の特性に応じた講義・演習・実習等の授業形態を設定し、適切な教材を活用した教育を実施している。授業科目ごとにシラバスを作成し、授業内容、到達目標、評価方法等を学生へ周知している。また、入学時ガイダンスや個別面談、学習相談等を通じて履修指導や学習支援を行っている。成績評価については、科目ごとに基準を定め、シラバス等で明示したうえで、統一試験等により公正かつ厳格に実施している。成績に関する問い合わせにも対応する体制を整備し、評価の透明性を確保している。 職業実践専門課程において、企業等と連携した実習・演習・インターンシップを実施し、実務に即した職業教育を行っている。実施にあたっては、連携先と実習内容や到達目標を事前に協議し、教育効果を高める体制を整備している。実習前にはガイダンスや研修を行い、実習中は教員と連携先が情報共有しながら学生指導を実施している。実習後は実習全過程の状況、実習連携先の評価等を踏まえて成果を確認し、成績評価に活用している。さらに、教育課程編成委員会や業界関係者の意見を反映し、実習内容と教育効果の継続的な向上に取り組んでいる。	・適正に運営されている。
		3	単位・卒業認定	2	卒業認定方針に基づき、履修状況、出席状況及び成績評価により適正な卒業認定を行っている。	・適正に運営されている。
		4	学習成果目標の達成状況	2	ディプロマポリシー及び育成人材像に基づき、学科・コースごとに資格取得、専門知識・技能の習得、職業人として必要な能力の修得目標を設定している。また、各種検定試験の結果や成績評価、就職状況等を通じて学習成果の達成状況を把握し、学生指導や教育課程の改善に活用している。さらに、ガイダンスや面談を通じて目標の確認を行い、継続的な成長を支援している。	・適正に運営されている。
3	学生の受入れ、学生支援	1	学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	2	入学者受入方針を定め、募集要項等を通じて公表し、公正な選考を実施している。	・適正に運営されている。
		2	自主的な学習の促進に対する支援	2	定期的な個別面談や学習相談を通じて、自主学習に関する助言や資格取得に向けた学習支援を行っている。また、成績や出席状況を継続的に把握し、成績不振者に対しては個別指導や面談を実施している。	・適正に運営されている。
		3	多様な学生に対する支援	2	障がいのある学生や留学生、社会人経験者など多様な学生に対し、個別面談や相談支援を実施している。特に留学生については入学前から個別支援を実施し、卒業まで継続的に複数の教職員が連携して学習・生活両面をサポートしている。 卒業研究については、研究内容設定から成果評価まで企業に協力いただき、現在のビジネス現場に応じた実践的内容で実施することができている。	・適正に運営されている。
		4	学生生活に関する支援	2	定期的な個別面談及び日常的な相談対応を行う体制、並びに相談室において相談内容や個人情報等のプライバシーが確実に守られる環境が整備されている。また、学生が相談しやすいよう複数の教職員が連携して支援を行い、相談内容は記録・共有して継続かつ適切な指導に生かしている。学習面や学生生活に関する相談体制は学生にも周知され、継続的に活用されている。 なお、留年・休学の可能性がある学生や退学を希望する学生については、早期に状況を把握し、担任・管理者・保護者が連携して対応している。さらに、指導記録システムを活用して情報共有を図り、学生一人ひとりの状況に応じた継続的な支援を行い、学業継続と進路実現を支援している。 また、毎年1回健康診断を実施し、学生の健康状態の把握に努めている。また、担任による個別面談や日常的な相談対応を通じて心身の健康管理を行い、必要に応じて保護者とも連携しながら支援している。学生が安心して学べる環境づくりに継続的に取り組んでいる。	・適正に運営されている。

自己評定（達成度）　３：基準を満たしており特筆すべき取組を行っている、２：概ね基準を満たしている　１：基準を満たしておらず改善が必要

大項目		中項目		自己評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
4	教育実施組織・教員	1	教員の配置、募集、採用	2	採用基準は整備され、採用計画に基づき、教員は確保できている。近年、専門性を有する人材の確保（採用活動）が困難になっており、採用活動における課題となっている。専門性を有する人材の採用が必要であるため、引き続き、様々な採用ルートを模索していく。	・適正に運営されている。
		2	教員の組織編成等	2	学園組織図において基本的な組織体制を整備するとともに、各校の事業計画書及び業務文書等でそれぞれの業務分担を明確にしている。また、教育に関する組織的な連携及び情報共有も行っている。	・適正に運営されている。
		3	教員の資質の向上	2	企業等と連携した教員研修を実施し、各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応する教育が実践できるよう、教員の資質向上に努めている。また、定期的に学生アンケートを実施するほか、上司の講義聴講等により専門性、指導力の把握・評価を行っている。	・適正に運営されている。
5	教育環境	1	教育環境の整備	3	適宜メンテナンスを行っている。業者等との連絡体制が明確になっており、適切な維持管理体制を整備している。また、時代に即した実習設備への入れ替え等を行っている。	・適正に運営されている。
		2	安全対策、防災組織	2	防災マニュアル（学校安全計画）を準備し、職員より各クラスで災害発生時のルール確認を行い、災害に備えている。 また、備蓄品等の整備も行われている。	・適正に運営されている。
6	教育活動の基盤と改善・向上の取組教育環境	1	中期事業計画と財務基盤	3	2025年4月1日施行（7年間）の中期計画が策定され、専門学校を含む学校種別に明確な計画（目標）が示されている。 また、事業報告を通じて、進捗状況や課題等も共有されており、必要に応じて見直しを図ることができる体制にある。	・適正に運営されている。
		2	学校運営	3	意思決定システムが確立されており、学園全体の運営方針は理事会・評議員会で、各校の運営方針は校長を中心とした運営会議で定められている。 また、その内容は全体朝礼およびイントラネットやグループウェアにて速やかに告知するとともに各部署で周知徹底している。	・適正に運営されている。
		3	学校評価の実施と改善活動	2	学校関係者評価委員会を開催し学校運営の評価および改善活動を定期的に行っている。今後は第三者委員会の開催に向けて更なる活動を進めていく。	・適正に運営されている。
		4	社会からの理解と情報の公表	2	法令に従い、大原学園ホームページ等に、教育情報や財務情報等が適切に公表されている	・適正に運営されている。

４．学校関係者委員会総括

令和７年度における自己点検・評価については適正であると評価できる。
学校運営は円滑な運営が行われており、また、教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、教育理念を達成するための事業計画の策定、研修などの確立を通じて有為な人材育成を行うことができている。
一方で、目まぐるしく変化する社会環境、SNSの普及やデジタル化の進展により企業が学生に求める能力は変化をしてきている。常に時代や社会のニーズに応じた教育提供を心掛け、高度な専門知識に加えて、現代に即したコミュニケーション力を育成し、社会人基礎力の向上を図り、社会に貢献できる有為な人材を育成に努めて欲しい。